

102-167

問題文

| 薬物 | 活性代謝物 |
|----------------|---------------|
| 1. イミプラミン | デシプラミン |
| 2. サラゾスルファピリジン | 5-アミノサリチル酸 |
| 3. ニトラゼパム | ジアゼパム |
| 4. プリミドン | フェノバルビタール |
| 5. モルヒネ | モルヒネ-6-グルクロニド |

解答

3

解説

- 各選択肢の薬物はそれぞれ
- 1：イミプラミン→三環系抗うつ剤
 - 2：サラゾスルファピリジン→大腸
 - 3：ニトラゼパム→Bz系
 - 4：プリミドン→抗てんかん剤
 - 5：モルヒネ→鎮痛剤　です。

選択肢 1,2,4,5 がある程度有名なので、知っていればそれでよいのですが、確信を持って思い出せなくても選択肢 3 に注目すると、ベンゾジアゼピン系の中でもニトラゼパムは中時間作用型、ジアゼパムは長時間作用型として知られています。もしもニトラゼパムが代謝されてジアゼパムになるとすれば、ニトラゼパムも長時間型でないとおかしいと考えられます。よって、選択肢 3 が誤りです。

ちなみに、ジアゼパムの主な代謝物はデスメチルジアゼパムです。ニトラゼパムの主な代謝物は7-アセトアミドニトラゼパムです。

以上より、正解は 3 です。